



日本私立小学校連合会

The Japan Association of Private Elementary Schools

日本私立小学校連合会の概要

使命と意義

日本の私立小学校は、初等教育は人間形成の基礎となることに確固たる信念をもち、個性・人格教育に努めている。建学の精神に基づき、特色ある教育を時代に即して実践している。少子化の下、全国の小学校数減少に対し、私立小学校数は平成24年(2012年)220校から令和6年(2024年)251校と増加した。これからも著しい社会変化と科学技術の高度化の中、誇りをもって先駆的实践を世に問うて行く。



特筆すべき日本私立小学校連合会の活動



義務教育をリード

初等教育から中等教育・高等教育までの一貫教育、英語等の外国語教育をはじめ、日本の初等教育における先駆的な教育プログラム・カリキュラムを開発し、義務教育をリードしてきた。



オンライン授業、ICT授業の充実

コロナ禍において、いち早くオンライン授業を実現し、家庭での学習を支援し、保護者の満足に供してきた。通常の授業の中でも、ICTを駆使した授業を展開している。



教職員の研修・研究の充実

全国教員夏季研修会をはじめ3つの全国研修会、5地区の地区研修会、初任者等研修会、15研究部の研修会など、教職員の研修・研究活動が充実している。

私立小学校

日本私立小学校連合会が産声をあげて80年。
この歴史に誇りをいただき、私たちは新たな百年に向けて人を育てる営みを続けます。

▼ 私学の特長



建学の精神と伝統を重んじ、その使命とする理想の教育を実践している。



各校が特色を発揮し児童の個性尊重・可能性伸長を探索し多様な学習ニーズに対応している。



教員の資質向上をめざし研修・研究を深め合い、絶えず新しい実践研究を試みている。

▼ 今後の課題

多様な教育機会の提供

個性的で多様な子どもたちが散見される。こうした子どもたちへの適切な対応が課題となっている。

ICT環境整備

ICT化のためのメンテナンスや買い替えの出費。担任業務につかない専門教員の採用・加配。

35人学級の実現

35人学級の実現は私立小学校にとって学費収入の大幅減少を意味し学校の健全な経営を圧迫する。